勘七ノ沢

平成23年4月24日（日）

L 釼持（記録）、木下、斎藤、菊地

前日のレスキュートレは雨のため、残念なことに中止になってしまったが、宴会は開催されるということで、せっかくなので参加することにした。暴風雨の中、みんなでタープを張り、焚き火の代わりに新井さんが持ってきてくれたガスで鍋を囲む。横から吹き付ける雨で入渓前からずぶ濡れになり、そのうちに招かれざる客・ヒルまで加わり始めたので、あまり呑む気になれずに早々にテントに退散。なかなか思い出に残る宴会だった。

今回は私が初リーダーということで、いつも以上にどきどきするけれど、同行してくれるメンバーは頼もしい大先輩方。いろいろ教えてもらおうというつもりで行く。

二俣で菊地さんと合流。晴れていたため丹沢は大賑わいで、勘七も数パーティーが遡行しているようだ。沢支度を整えてゆっくり歩き始める。思ったより水は冷たくない。Ｆ１は木下さんリード。Ｆ１と看板がつけられていた。続いて私がのろのろと登る。後続を待つ間、支点の取り方などを教えてもらう。

Ｆ２、Ｆ３と快調に進んでいく。最初は先頭を歩いていたが、いつのまにか斎藤さんに譲り、みんなにフォローされまくりで、みんなを待たせてばかり。

堰堤ゾーンになると、木下さんの提案で低い堰堤を直登することに。沢靴で登るのはなかなか大変。岩が埋め込まれた堰堤はなんとか越えられたけど、コンクリートのみの堰堤はスタンスが乏しい。木下さんは立てた流木に立ち上がり、コンクリートのつなぎ目に足を載せて見事に越えた。続いて斎藤さん。なかなか苦戦して、水流を浴びている。斎藤さんが苦労している間に菊地さんが右から巻き始めたので、私もそれに続く。結局斎藤さんもクリア。拍手！！

Ｆ５は斎藤さんリード。上からビレイしてもらって登る滝より、ちょっとしたへつりだったり、小滝の方がよっぽど怖い。ついには途中で手詰まりになって上から補助ロープを投げてもらう始末。フリーの技術ももっと身につけねば…。ガレ場になり、最後の詰めは目印のペンキやスニーカーがぶら下がり、とてもわかりやすいガレ沢を詰めて花立山荘の裏に出た。大倉尾根から二俣へ戻る。

皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

9：00　入渓

13：30　花立山荘

15：10　二俣